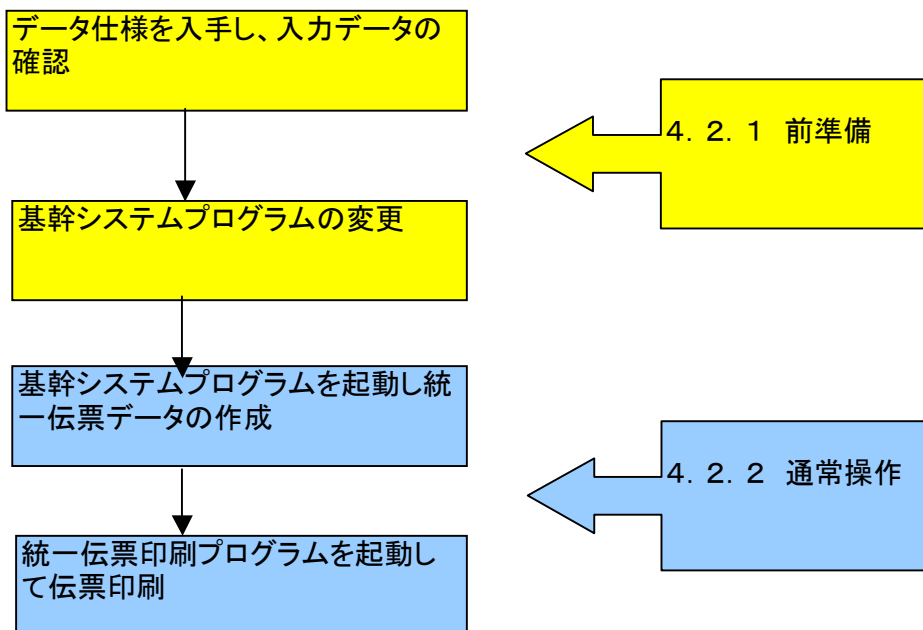


## 4.2 シンプルな基幹システム連携

基幹システムのプログラムの一部を変更して統一伝票用データを作成し、統一伝票印刷プログラムに読み込ませて伝票印刷することができます。基本的な考え方は3. 2章で紹介した外部データを読み込み印刷する仕組みと同じです。3. 2章ではデータの形式を意識する必要がありませんでしたが基幹システムでデータを作成する場合はデータの仕様を意識する必要があります。印刷可能な桁数、全角、半角、数字などです。仕様と合わない場合、プログラムが異常終了することがあり伝票印刷できません。

以下の手順で準備すると比較的楽に基幹システムとの連携印刷ができます。



## 4.2.1 前準備

(1) データ仕様を入手し、入力データの確認  
 データの仕様はホームページのプログラムをダウンロードした同じことから入手(ダウンロード)できます。  
 伝票ごとに違いますので印刷する伝票にあったデータ仕様を確認ください。

チェーンストア手書き(型なし)データ仕様

入力出力ファイル:チェーンストア統一伝票手書き用(型なし)

No.	論理項目名	物理項目名	編集	桁数	属性	IME	印刷
1	伝票管理番号	DenpyoKanriNo	管理用・表示なし	なし			なし
2	行番号	GyoNo	管理用・表示なし	なし			なし
3	入力日	NvuaryokuYMD	管理用・表示なし	なし			なし
4	社名	Shamei			20半全	ひらがな	
5	店名	Tenmei			20半全	ひらがな	
6	社・店コード	ShaMiseCode			8半英数字	Disable	
7	分類コード	BunruiCode			4半英数字	Disable	
8	伝票区分	Denpyokubun			2半英数字	Disable	
9	伝票番号	DenpyoNo			7半英数字	Disable	
10	取引先コード	TorihikisakiCode			8半英数字	Disable	
11	取引先名1	TorihikisakiMei1			20半全	ひらがな	
12	取引先名2	TorihikisakiMei2			20半全	ひらがな	
13	年	Nen			2半数字	Disable	
14	月	Tuki			2半数字	Disable	
15	日	Day			2半数字	Disable	
16	なし	NouhinMen					なし
17	なし	NouhinTuki					なし
18	なし	NouhinDay					なし
19	なし	Bin					なし
20	A欄	D1			30半全	ひらがな	
21	なし	D2					なし
22	なし	E1					なし
23	なし	E2					なし
24	F欄	F1			8半全	ひらがな	

ページが表示されました

上記画面はデータ仕様の表示例です。  
 論理項目名が”なし”となっているところ意外はデータとして必要なところ。  
 桁数:印刷可能な最大文字数です。入力は指定されている文字数以内でなければなりません。  
 属性:”半全”は半角全角のどちらも使用できます。そのほかは指定されている文字で入力しなければなりません。  
 No.1の伝票管理番号:伝票の改ページキーとして使用します。値が変わったところで改ページします。

#### 4. 2. 2 通常操作

(1)最初の1回だけプリンターの指定のためアイコンで統一伝票印刷プログラムを起動します。

プリンターの指定と、印刷位置を調整確認してください。

#### (2)実行

次のスクリプト(VBS)を用意し、スクリプトを実行することで定型の処理をバッチで実行するのが楽な方法です。

次のようなスクリプトを”メモ帳”で用意し、デスクトップに保管します。ファイル名をchohyo.vbsとします。

現行ディレクトリ(WshShell.CurrentDirectory)は実行ファイル名の説明の表を参考に指定して下さい。

基幹システムからデータを書き出したら、デスクトップに保管したファイル名をchohyo.vbsをダブルクリックして起動してください。メッセージが出力され、確認後、印刷が実行されます。

```
Set WshShell = WScript.CreateObject("WScript.Shell")
Set Fs=WScript.CreateObject("Scripting.FileSystemObject")
msgbox "印刷開始。OKを押してください。"
'*****
' チェーンストア統一伝票手書き用1型の場合
'*****
'実行フォルダー指定が必要
WshShell.CurrentDirectory = "C:¥StiData¥CSHand1V2"

WshShell.Run "TouitsuProg.exe 2 1 sample¥東京フーズ株式会社人形町店20090321124933.csv" „True

msgbox "印刷完了。OKを押してください。"
Set Fs=Nothing
Set WshShell=Nothing
```

以下はスクリプト中の実行コマンドの引数の説明です。

実行ファイル名	起動方法	伝票種類	データ
---------	------	------	-----

#### 実行ファイル名

インストール先の実行ファイルを指定してください。

伝票の種類	実行ファイル名
チェーンストア統一伝票手書き用	C:\¥StiData\¥CSHand1V2¥TouitsuProg.exe
チェーンストア統一伝票ターンアラウンドⅠ型	C:\¥StiData\¥CSTA1V2¥TouitsuProg.exe
チェーンストア統一伝票ターンアラウンドⅡ型	C:\¥StiData\¥CSTA2V2¥TouitsuProg.exe
百貨店統一伝票手書き用	C:\¥StiData\¥DPHandV2¥TouitsuProg.exe
百貨店統一伝票連続紙用	C:\¥StiData\¥DPRenV2¥TouitsuProg.exe
チェーンストア統一伝票タイプ用	C:\¥StiData\¥CSTypeV2¥TouitsuProg.exe
日本加工食品協会統一伝票	C:\¥StiData\¥KSOMV2¥TouitsuProg.exe
百貨店委託C用	C:\¥StiData\¥DPItakuCV2¥TouitsuProg.exe
チェーンストア手書き用	C:\¥StiData\¥CSHand0V2¥TouitsuProg.exe
チェーンストアタイプ用1型	C:\¥StiData\¥CSType1V2¥TouitsuProg.exe

#### 起動方法

- 1 : データをセットした伝票を画面に表示する。印刷は操作者が行う。
- 2 : 画面を開かずすべて自動で印刷する。
- 3 : 画面を開かずすべて自動でプレビュー表示する。連携印刷開発時にインタフェース確認テストで使用できる。

#### 伝票種類

- 1 : 単票印刷
- 2 : 連続紙印刷

#### データ

印刷するCSV形式のデータ